

工業簿記 単純総合原価計算

パターン I 【先入先出法・完成品負担】

A工場は製品Xを生産・販売し、実際総合原価計算を採用している。次の【資料】にもとづいて、答案用紙の総合原価計算表の（ ）内に適切な金額を記入しなさい。なお、原価投入額合計を完成品総合原価と月末仕掛品原価に配分する方法として先入先出法を用いること。

【資料】

1. 生産データ

月初仕掛品量	1,800 kg (50%)
当月投入量	<u>35,000 kg</u>
合計	36,800 kg
差引：正常仕損量	800 kg
月末仕掛品量	<u>2,000 kg (50%)</u>
完成品量	<u><u>34,000 kg</u></u>

2. 原価データ

月初仕掛品原価	
材料費	324,000 円
加工費	<u>225,000</u>
小計	<u>549,000 円</u>
当月製造費用	
材料費	7,700,000 円
加工費	<u>9,772,000</u>
小計	<u>17,472,000 円</u>
合計	<u><u>18,021,000 円</u></u>

- (注)
- ・（ ）内は加工費の進捗度である。
 - ・材料費は工程の始点で投入している。
 - ・正常仕損は工程の終点で発生しているため、正常仕損費はすべて完成品に負担させる。
 - ・仕損品に処分価額は無い。

総合原価計算表

(単位：円)

	材 料 費	加 工 費	合 計
月初仕掛品原価	324,000	225,000	549,000
当月製造費用	7,700,000	9,772,000	17,472,000
合 計	8,024,000	9,997,000	18,021,000
差引：月末仕掛品原価	()	()	()
完成品総合原価	()	()	()

参考メモ【仕掛品ボックス】

仕掛品－材料費

月初有高		当月完成	
当月投入		仕 損 費	
		月末有高	

仕掛品－加工費

月初有高		当月完成	
当月投入		仕 損 費	
		月末有高	